

下野市の国際交流



下野市の国際交流は、合併前の旧石橋町において続けられてきたドイツ・ヘッセン州にあるディーツヘルツタール市との姉妹都市交流が土台となっています。

交流の歴史は、昭和41年に獨協医科大学名誉学長の石橋長英博士(故人)の橋渡しによる、同じ名前が取り持つ縁をきっかけに、旧西ドイツのシュタインブリュッケン(日本語で石橋の意味。現在は合併してディーツヘルツタール)と旧石橋町の小学校児童による絵画の作品交換から始まりました。その後、両町の交流が深められ、幅広い国際交流の芽を育てていくため昭和50年に旧石橋町と姉妹都市の締結がされ、平成27年には姉妹都市締結40周年を迎えました。平成18年1月に旧・石橋町、国分寺町、南河内町の3町合併により下野市が誕生し、現在の下野市国際交流協会(民間団体)へと発展しました。



下野市国際交流協会ロゴマークは平成27年に公募により決まりました。

ディーツヘルツタール市シュタインブリュッケン地区の日本庭園にあるメモリアルボード

I 下野市国際交流協会 ~ Shimotsuke International Association ~

下野市国際交流協会には、5つの専門委員会があり各種事業を展開しています。

広報委員会

会報の発行・会員への情報提供

交流委員会

国際交流イベントの計画・実施など

総務委員会

各専門委員会間の連絡・調整など

語学委員会

外国語講座の企画・実施や在住外国人との交流・支援(日本語教室)

学生委員会

ミュンヘン大学との交流に関すること



ホストファミリー ~身近な交流~

国際交流協会では毎年ミュンヘン大学生を8月後半の2週間、ホストファミリー協力のもと受け入れています。

平成28年に初めてご協力いただいた中山さん(祇園小学区)に伺ったところ、友人がホストファミリーを行った際に同席した「回転ずし」や「プリクラ」がとても楽しかったことが今回応募に至った理由とのことでした。こうした方々の協力で国際交流が支えられています。



つながッテルな!
条例37条

(国際交流)

市は、国際交流の文化を大切にするとともに、市民の国際交流活動の支援に努めるものとする。
2 市民及び市は、多文化共生社会の視点に立ち、敬愛と相互理解と学び合いの精神を持って、国際交流活動に努めるものとする。